

令和5年第10回瑞穂市教育委員会定例会会議録

令和5年10月27日（金）午後2時00分開議

議事日程

開会及び開議の宣告

日程第1 令和5年第9回瑞穂市教育委員会定例会会議録の承認について

日程第2 会議録署名委員の指名について

日程第3 教育長の報告

日程第4 その他 事務局長

教育総務課長

給食センター課長

学校教育課長

幼児教育課長

生涯学習課長

閉会の宣言

○本日の会議に付した事件

議事日程に同じ

○本日の会議に出席した委員

服 部 照

森 下 伊三男

加木屋 加緒里

大 平 高 司

伊 藤 清 美

○本日の会議に欠席した委員

なし

○本日の会議に説明のため出席した者の職・氏名

事務局長 佐 藤 雅 人

教育総務課長 井 上 克 彦

給食センター課長 松 野 光 広

学校教育課長 郷 通 芳

学校教育課総括主幹	石 野 陽 子
学校教育課主幹	松 野 英 泰
幼児教育課長	野 口 智 子
幼児教育課主幹	庄 司 洋
生涯学習課長	野 田 秀 樹
生涯学習課総括主幹	伊 藤 貴 範

○本日の会議に職務のため出席した者の職・氏名

教育総務課主幹	野 津 浩 行
---------	---------

○傍聴者

なし

開会及び開議の宣告

○**教育長** ただ今より、令和5年第10回瑞穂市教育委員会定例会を開会致します。

次第に沿って進めます。

日程第1 令和5年第9回瑞穂市教育委員会定例会会議録の承認について

○**教育長** 日程第1 令和5年第9回瑞穂市教育委員会定例会会議録の承認についてです。

事務局より過日郵送にてお配りしておりますので、委員の皆様には事前にご確認頂いていると思いますが異議等はありませんでしょうか。

異議がないようなので、令和5年第9回瑞穂市教育委員会定例会会議録の承認については、承認することと致します。

日程第2 会議録署名委員の指名について

○**教育長** 日程第2 本日の会議録署名委員の指名についてです。

今回は、加木屋委員よろしくお願い致します。

日程第3 教育長の報告

○**教育長** 日程第3 教育長の報告です。

1点目は公表会と研究発表会についてです。

すべての学校が毎年発表をすることは、他市町にはないことだと認識しておりますが、私自身は教員の指導力の向上という意味で非常に大きな意義があると思っております。教材研究等をしっかり行うことによって、より良い授業ができると思っております。もう1つは教師がチームで授業を作り上げるにあたりディスカッションしますので、凝集度が高まると感じています。

各学校の発表会では、子供がとても意欲的に自分の考えを発表しようとする姿を感じることができました。また、子供と教師との関係がとてもあたたかい、心地よい雰囲気だと感じました。

丁寧に書かれている研究記録を読ませていただくと、2年間もしくは3年間、その学校がどういう取組をしてきたかということが非常によくわかります。

授業の研究に関しては、取組内容が非常に明確に打ち出されている学校がありました。

また、全国学力学習状況調査の結果、学校独自のアンケート結果、子供の声をもとに分析をして検証しようとする姿勢がみられ、いずれもすばらしいと感じました。

2点目は、子供たちの活躍という視点でお話したいと思います。

1つは、「第2回読書のまちみずほビブリオバトル」を10月7日に開催しました。この大会のねらいは、本を読んでその子自身が考え、感じたことを自分の頭でじっくり考える機会になること、本の魅力を相手に伝えることによって、自分の考えを相手に分かりやすく伝える力が身に付くことだと思っております。

代表者7人が発表してくれましたが、どの子も精一杯魅力を伝えようとしてくれていました。

昨年も感じましたが、質問タイムに自分の思ってもいないことを聞かれた時に、その場で考えて答えるという経験は貴重だと思います。発表するにあたっては、練習に練習を重ねていると思いますが、即座に臨機応変に自分で考えて答えるという力も大事だと思っています。

教育委員会としては、質問タイムの在り方、方法については若干改善の余地があると思っていますので、次年度に生かしていきたいと思っています。

今回紹介された本については、ぜひ各学校で読んでいただきたいということで、各学校に配布します。また、図書館にも特設コーナーを設けるなどをして広めていきたいと思っています。

「読書のまちみずほビブリオバトル」をさらに広めるため、3月10日の文化講演会に朝井リョウさんをお招きすることができそうなので、つなげていけたらと思っています。朝井リョウさんご自身が若い人たちとディスカッションをする会にしたいというご要望もあり、小学生、中学生、場合によっては市内の高校生も参加をして、「読書のまちみずほ」が浸透する機会にしたいと思っています。

子供たちの活躍の2つ目ということですが、10月21日に第18回瑞穂市駅伝競走大会小学生の部が開催されました。低学年、中学年、高学年男子、高学年女子の4つの部において、97チーム、413名の児童が参加しました。このような機会を提供していただける関係者の皆さんには感謝しています。

校長先生も来賓として招かれていましたが、スタート前に校長先生のもとに寄ってきて話をしている姿を見ると、子供にとって校長先生はとても大きな存在だということを改めて思いました。

3点目ですが、令和6年7月31日から令和6年8月5日にかけて第48回全国高等学校総合文化祭が岐阜県で開催されます。10月15日にプレ大会総合開会式が長良川国際会議場で行われ参加をしてきました。

瑞穂市は、ココロかさなるCCNセンターが吟詠剣詩舞の会場となっています。吟詠剣詩舞というのは、漢詩や和歌に描かれた情景や心情を独特の節をつけて吟じるいわゆる吟詠。その吟詠に合わせて扇子を用いて優雅に舞う詩舞、日本刀を用いて力強く踊る剣舞で、日本の伝統芸能の1つです。吟詠に合わせて書道を行う書道吟や花を生ける華道吟などの分野もあり、高校生になって初めて出会った生徒も多いとのこと。

日程第4 その他

○**教育長** 日程第4 その他です。

事務局長。

○**事務局長** 特にございませぬ。

○**教育長** 教育総務課長。

○**教育総務課長** 教育委員会関係の工事の進捗状況の報告です。中小学校、公私連携型牛牧第1保育所整備事業造成工事について報告。

11月10日金曜日に予定されている、岐阜県市町村教育委員会連合会研修総会開催の案内です。会場は可児市文化創造センターです。スケジュール等につきましては、配付いたしました資料のとおりです。

○**教育長** 給食センター課長。

○**給食センター課長** 特にございませぬ。

○**教育長** 学校教育課長。

○**学校教育課長** 研究発表会や公表会への参加にあたりお時間を頂戴し、学校に足を運んでいただきまして本当にありがとうございます。

瑞穂市には若い先生が多いですが、一番うれしいのは若い先生が早い段階で成長している姿をたくさん見られることです。学年主任、教科主任といったベテランの先生が日々若い先生の指導を丁寧にやってくださり、支えていただいているおかげだと思っております。これからも校内の人的環境を大事にできるような学校づくりをしていただけるとありがたいと思っています。

先週末頃から、インフルエンザによる学級閉鎖が増えています。今週は、6学校で学級閉鎖となっています。コロナウイルス感染症の位置づけが変更となり、マスクをしなくなっていることも影響していると思っておりますが、引き続き注意喚起をしていきたいと思っています。

○**教育長** 幼児教育課長。

○**幼児教育課長** 10月14日土曜日に保育所運動会を開催しましたところ、委員の皆様にはお忙しい中参観いただきましてありがとうございました。子供たちに応援をいただき、保育士も積み上げてきたことを認めていただき、言葉がけいただいたということで、大変うれしかった、またがんばりますということを保育士から聞いております。ありがとうございました。

10月17日に奈良県桜井市議会の文教厚生委員会の行政視察がございました。桜井市は瑞穂市と同じような人口規模の市で、瑞穂市同様に保育士不足に悩んでおられ、瑞穂市が行っている子育て支援員の活用について視察されましたのでご説明をさせていただきました。

9月に申込みを受けました来年度の保育所入所申込みの結果につきまして、11月上旬頃お知らせをする予定です。

放課後児童クラブにつきましては、11月16日木曜日から11月24日金曜日までの期間において、令和6年度の利用申込み受付を巢南庁舎大会議室と郵送で行う予定です。

○**教育長** 生涯学習課長。

○**生涯学習課長** 9月30日に「瑞穂市市制20周年記念事業第23回ネオクラシックコンサート オーケストラ・アンサンブル金沢」が開催されました。

委員の皆様にもご来場をいただきましてありがとうございました。320名の方にご来場いただき大変盛況でした。

10月7日に「第2回読書のまちみずほビブリオバトル」が開催されました。7小学校の代表児童が、自分が選んだおすすめの本を精一杯紹介してくれました。今回は穂積小学校の代表児童が発表してくれたおすすめ本がチャンプ本になりましたが、いずれ劣らぬ大変よい紹介だったと思っております。今後に向けての課題も多くございました。次回に向けてより良いものにしていけるよう検討してまいります。

今後の予定ですが、令和6年度に岐阜県で第39回国民文化祭、第24回全国障害者芸術文化祭が開催されます。今年度の開催県は石川県で当市と同じ将棋の開催市である、野々市市へ視察に行く予定です。

11月23日から11月26日を会期としまして、第21回の瑞穂市美術展が市民センターにて開催されます。日本画、水墨画、洋画、書（篆刻）、彫刻・工芸、写真の部門があり、瑞穂市民センターハナミズキホールを会場に展示されます。委員の皆様にもぜひご来場いただければと思います。

○教育長 各課より報告いただきましたが、本日の議題等も含め、その他、ご質問等はありませんか。

○大平委員 ビブリオバトルについてですが、運営等大変だと思いますが、司会も子供たちが務めて、子供たちが発表をするという姿を見させてもらって、大変充実していたと思っています。

目的としては、本の内容をみんなに知ってもらうこと、コミュニケーション能力を高めることだと思います。発表者が準備している原稿は、小学生が小学生に向けて作ったものと思われそうですが、周りは大人ばかりでしたので、多分雰囲気の違いなどから緊張したりすると思います。学校内と同じように小学生に対して話しかけるという事を考えると、出席者の子供たちの席を発表者の前に配置して、子供たち中心で行える雰囲気を作られてはどうかと思いました。また、質問もまずは子供たちがする方がよいと思いました。

小学校でのビブリオバトル実施率はどれぐらいでしょうか。また、どのような形で実施しているのかと思いました。あのような経験を6年間できれば、少しずつですが、コミュニケーション能力が高まるのではないかと思います。

た。

「読書のまちみずほ」なので、小学校、中学校で継続的に読書の習慣がつくようなことを実施していくことがよいのではないかと思っています。

例えば、朝読書を週2、3回でも実施するとよいと思います。効果としては読書習慣がつくということと、読むものによって異なりますが、情緒面の成長ということも期待できると思います。

読む力が足りなくて、算数などの文章題がうまく読み取れないということを知りました。読む力は簡単にはつかないかもしれませんが、読書を継続すれば、数学の長文問題だけではなく、ほかの教科でも役立つ要素があると思います。

また、図書室は時間帯によって利用できないことがあるようですが、図書室の利用は読む本の種類の広がりにつながると思います。

○生涯学習課総括主幹 ビブリオバトルに出場するまでの流れを説明します。

まず夏休みの前に、自分のおすすめ本を1冊見つけようということで、全員に読書紹介カードというものを配布しました。子供たちはそのカードにおすすめ本の名前を書いてきます。夏休みが明けて、クラスまたはグループでおすすめ本の発表をしたそうです。そのように、各学校で予選を実施して大会に出場してきます。

司会は少年リーダーが行いました。少年リーダーは、自分たちでできることは自分たちで行うということで、ボランティアで活動してくれています。前向きな気持ちでいる子供たちが活躍できる場をたくさん増やしていこうということで、市制20周年の記念式典、少年の主張大会など、市の行事がある時には、部員に声をかけて、参加できる子供たちに集まってもらい話をし、本番を迎えています。自分からやろうと思ってきてくれるので、その気持ちを認めつつ、やる気を引き出しているところです。

○森下委員 今回小学生だけでしたが、小学生でも大人っぽい本を紹介していました。高学年と低学年で分けてもいいのかもしれませんが。

プレゼンテーション力も身に付くよい機会になると思います。

中学生、高校生の頃から紙の本を読む大切さというのを教えていく必要があるのかもしれませんが。今はインターネットを活用し端末で読む割合が増えて

いますので、小学生もタブレット端末を持っていますから、それで読むこともあると思いますが、紙は紙のよいところがありますので、朝読書などで培っていかないといけないと思いました。

○加木屋委員 子供たちの表現力、質問されたときに即座に答えられる対応力に感心しました。

おすすめ本の魅力を伝える子も、決して読書が得意じゃない子も何人かみえたと思いますが、魅力を上手に伝えていることに感心しました。司会の子もとても上手に受け答えをされていたので、子供たちの対応の仕方に驚かされました。

公表会の参観をさせていただきありがとうございます。授業内容もですが、子供たちがすごく生き活きと授業を受けているというのが印象で、素晴らしいと思いました。

また、授業中にさりげなく子供たちが教えている姿がどこの学校にも見られ、その優しさ、周りに対する思いやりをこのまま持ち続けてほしいと思いました。

ただ2点ほど気になったことがありました。

1点目は電子黒板の位置です。場所によってはしっかり見える場所と光が反射して見えない場所というのがあるので、授業が始まる前に先生方が確認していただくとよいのではないかと思います。

見えないと言える子はいいますが、中には見えないことを言えなくて、そのまま授業を受けている子もいるのではないかということを感じました。

もう1点は、書く時の姿勢です。一生懸命なあまりノートと目が近い子がいました。姿勢が崩れてくると集中力が欠けるということや、視力への影響も出るという話を聞いたこともあります。つつい前かがみだったり、斜めになったり、椅子ごと斜めにずれたりということも見受けられたので、低学年のうちから良い姿勢が保てるよう心掛けていければよいと思いました。

○学校教育課長 私も児童生徒の席から電子黒板の見え方、光の当たり方について確認させていただきました。先生自身が子供の目線で確認し理解したうえで、電子黒板の角度や位置を配慮できるかどうかというのが大事なので、防災の観点も含めて確認していきたいと思っています。

書く姿勢については、タブレットを使うようになってから子供たちの姿勢が今までより気になるようになりました。低学年の先生方は座り方、机の上に何をどこに置くか、鉛筆の持ち方1つとっても指導をしています。身についたものがきちっとしている子と、残念ながらそうでない子もいます。書写の授業もありますので、授業の中で確認していくことも必要だと思っています。

○**伊藤委員** 公表会は、子供たちや先生方の成長をお互いに確かめ合うとても良い機会であると思っています。先生方は指導案を書いて、それを練って、表現して、評価指導を受けるというのはこの仕事をしていくうえで一番力になるとしています。ただその反面、今は働き方改革の推進、あるいは時間の確保という点では、そのバランスをとっていかなければならない中で公表会、研究発表会を市全体として進めていくのは大変なことだと思っています。

公表会、研究発表会のいずれも、どの教科をとっても、子供が考えたことをどこかでいろんな方法で表現します。その考える場、表現の場を先生がどうやってどこで仕組んでいくかということになると思います。私は日ごろ0歳から5歳までの幼児、乳幼児に関わっていますが、乳幼児も一緒にその年齢なりに考える場、その年齢なりに自己表現する場を私は意識して子供たちを見守っていくことを考えています。

○**加木屋委員** 保育所の運動会を見させていただいてありがとうございます。親の立場から言うと、保育所に入るまでは自分の子だけを見ています。保育園に入ったとたんに周りの子を見てしまいます。自分の子のこの部分がほかの子に負けていると思いつんでしまい、親が知らない間に周りを見て比べてしまうことが多くなるのではないかと思います。

保育所の運動会を見させていただいて、先生1人1人がその子の成長に合わせた声掛け、応援をされており、すべての子供に対応されていることにとっても感動しました。失敗しても「頑張ったね。」という姿勢で向き合っていて、保育所がそういう姿勢なので、お母さんたちも同じ気持ちになるのだと思いました。

○**幼児教育課長** ありがとうございます。保育所にとって運動会は、保護者の方や地域の方に見ていただく場で、1人1人に合わせて積み上げてきて、当

日を迎えます。保育士も誠心誠意取り組んできたことに対して、教育委員さんから認めてもらえたということは自信になって、保育士全員がますます頑張ろうと思っていますという報告がありました。

○**教育長** その他、ご質問等ありますでしょうか。

ないようなので、次回以降の教育委員会定例会の開催について確認させていただきます。

次回、第11回教育委員会定例会は、令和5年11月20日（月）午後2時00分から、3-2会議室で開催します。

第12回教育委員会定例会は、令和5年12月25日（月）午後2時00分から、3-2会議室で開催します。

よろしく申し上げます。

閉会の宣言

○**教育長** 本日は、お忙しいところありがとうございました。

これをもちまして、令和5年第10回瑞穂市教育委員会定例会を閉じさせていただきます。

閉会 午後3時02分

瑞穂市教育委員会会議規則第27条第2項の規定により、ここに署名する。

令和5年10月27日

瑞穂市教育委員会 教育長 服部 照

委員 加木屋 加緒里

※地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第13条第6項のただし書により、人事に関する事件その他の事件について、出席委員の3分の2以上の多数で議決があった場合は非公開とします。